

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所 ハーモニー			
○保護者評価実施期間	2025年11月3日 ~ 2025年11月28日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数)	11名
○従業者評価実施期間	2025年11月3日 ~ 2025年11月28日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月16日			

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・個別支援に関わることができている。 ・個別から小集団の輪に入れるような支援を行えている。 ・通所したくなる体制づくり。	・日々の支援をしながら気づきをしていく。 ・アセスメントをした上で、振り返り、職員間での情報共有を行えている。	・現状の職員間のチームワークを維持していく。 ・時間の確保が難しいが、オンライン等での研修参加の機会を増やし、支援に活かしていく取り組みを行えることが理想。
2	・保護者との関係性、対応を丁寧に行えている。	・日頃の支援で気づきがあれば、保護者へ連絡を行い、情報共有を図っている。 ・モニタリング等の定期面談で、相談支援事業所とも連携を図りながら対応をしている。 ・保護者の声を、職員間で共有できている。	・日頃の支援の丁寧さを維持していく。 ・保護者が話しやすくなる事業所づくりを、職員間で検討していく。
3	・関係機関との連携。	・保護者との情報共有。 ・必要時に関係機関（他園等）との情報共有。 ・その話を踏まえて、事業所での取り組みを検討する。	・引き続き、必要があれば、関係機関との連携を行う。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われる	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者が参観できる機会を実施できていない。	・参観については、月～金、利用児が固定でないため、1日参観でなく、週参観の実施をするのに難しさがある。	・個別対応であれば、参観機会も可能。
2	・併行通園先との連携、共有を図ってはいるが、保護者に気づかれにくい。	・連携、共有については、保護者にもご理解いただけるよう、伝わりやすい方法を検討。	・個別に電話連絡をし、連絡ノートにも簡潔にまとめる。
3	・ICTの導入活用。 ・SNSの情報発信、利用方法。	・保護者より、電話で欠席連絡をするのが不便と感じているご意見もある。 ・保護者向けのお知らせ等も、紙での情報提供としているが、紙が最適な場合もある。	・欠席連絡、お知らせ等が一括管理できるように、保育向けのアプリ活用も検討が必要かもしれない。 ※ただし、情報発信側が使用方法等について理解・認知が必要なため、慎重に進めることが大切である。また、事業所側が使用方法について熟知しておく必要がある。
4	・各マニュアルの作成・整理。	・法人としてのマニュアルは作成しているが、事業所独自のマニュアル作成が不十分。 ・または、児童分野で作成すべきマニュアルができていない。	・法人のマニュアルをベースとし、事業所独自のマニュアル化を取り組んでいく。